

Maison Kumamuta

2019年 発行 4月号

広報 メゾン・クマムタ VOL, 131

社会福祉法人 恵春会

基本理念

人間尊重の精神と人間平等の思想の実現

方針

1. 個人の自由と権利の尊重
2. 自立への援助
3. 施設は地域社会福祉の核となれ
4. 職員は専門職としての誇りと研鑽を

〒861-4215

熊本県熊本市南区城南町沈目1502

障害者支援施設 くまむた荘

TEL (0964) 28-4680 FAX (0964)28-5403

くまむた荘デイサービスセンター春秋館

TEL・FAX (0964)28-2760

相談支援センター絆

TEL (0964)28-7799 FAX (0964)28-0040

(0964)28-7760

4月生まれの利用者の方



小林 様 田尻 様 藤本 様



清崎 様 東家 様

給食だより

イライラにはビタミンB12

ビタミンB12は造血に関わるビタミンで、神経機能を維持する大切な役割を担っています。イライラは、疲れやストレスによって脳の神経伝達機能が低下し、緊張や興奮状態が続くために起こるのではないかとされています。

または、セロトニンやドーパミンなど、脳の神経伝達物質が不足していることが原因の場合も考えられますので、それらの材料であるビタミンB12を補給しましょう。

～ビタミンBを多く含む食材～

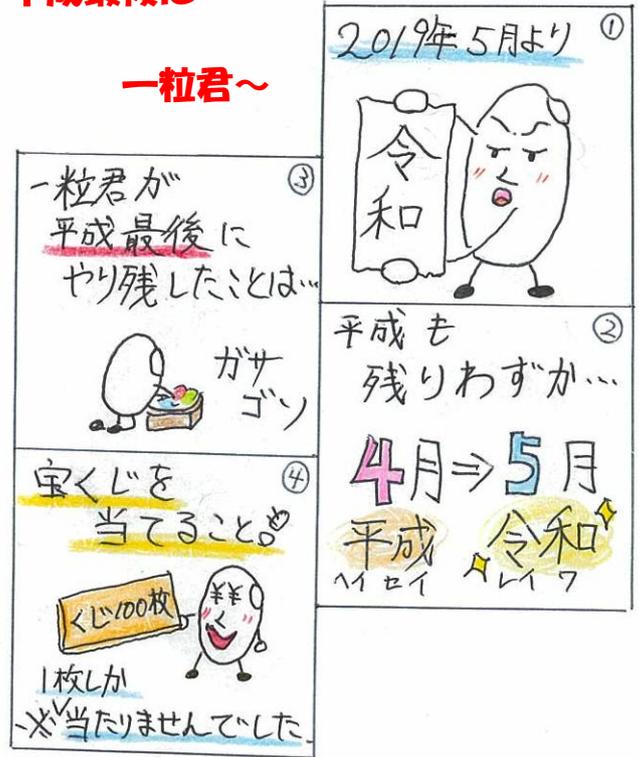
○レバー類…ビタミンB群、葉酸、鉄などの健康に役立つ有効成分を含み、病気への抵抗力を高めてくれる

○しじみ…鉄やビタミンB12が豊富で貧血予防に効果がある。また、疲労回復にも効果的。

～一粒君～

～平成最後に

一粒君～



4月行事予定

- 2日(火)・・・くまむた荘 花見
- 4日(木)・・・巡回図書、熊本県議会議員
熊本市議会議員選不在者投票
- 18日(木)・・・コーヒー喫茶、巡回図書

新人職員紹介



大鶴 聖輔 (看護師)

この度、医務室勤務になりました。想像以上の業務の多さに驚いて、毎日があっという間に過ぎていきます。また、利用者の方々との会話から学ぶことが多くて、周りの大切さを実感しています。どうぞよろしくお願いたします。



藤田 菜美 (栄養士)

4月から栄養士として勤務しています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。

日中活動予定表

☆音楽クラブ

7日(日)

☆学習会

9日(火)

☆レクリエーション

16日(火)

☆絵画教室

6日(土)、14日(日)、20日(土)、
27日(土)

退職・異動のお知らせ

3月末にて、生活支援員の中川裕真さんと立川千尋さんが退職、上塚ひとみさんが祥麟館に異動となりましたのでご報告いたします。

初市見学



3月11日(月)に城南町中心部で開催されました初市に10名の利用者の方が見学に行かれました。当日は天気もよく初市も賑わっていました。退職された職員の方々がボランティアで来ていただき、利用者の方も久々の外出に喜んでおられました。短い時間でしたが、暖かい日差しを浴び、春の訪れを感じた1日でした。

オセロ大会



3月21日(木)に長嶺の身障センターにて火の国杯争奪九州障がい者オセロ大会が行われました。くまむた荘からは予選を勝ち抜いた吉田様、小林様、花田様の3人が出場され見事準優勝の成績を修められました。出場された方からも、「緊張の中自分が持っている力を出し切れた」「楽しかった」との言葉が聞かれました。

デイサービスセンター春秋館

平成30年度 家族会を開催しました



3月16日に平成30年度の家族会を開催いたしました。ご参加いただけましたご家族は少なかったのですが、「普段はなかなか話せないお話しなどたくさんすることが出来ました。」とお喜びの声が聞かれておりました。

その後は、恒例の「巻きパン」作りをしました。と一っもおいしかったですよ！

4月生まれの御利用者紹介



- ・お名前 : 本田 様
- ・誕生日 : 4月4日生まれ
- ・お好きなもの
: 氷川きよさんの歌
ジャッキー・チェンの映画

おめでとうございます！

平成 31 年度

施設長挨拶



くまむた荘 施設長 柳田 文男

日頃より恵春会くまむた荘に対しまして、施設ご利用者の皆様をはじめご家族の皆様に温かいご支援とご協力を賜り、心からお礼と感謝申し上げます。

昨年度は8名の利用者の方が退所され、また、新たに7名の利用者の方が入所されました。現在70名、最年少は24歳から最高年齢は88歳までと幅広い世代の方が入所されています。高齢化と障害の進行による重度化がみられる現状ではありますが、生活施設としてできる限りの生活支援を行ってまいり所存であります。

昨年、政府は、少子高齢化に伴う人材を補い、外国人労働者の雇用の受け入れを図るべく、また介護人材の確保のために、これまで二国間の経済連携強化、平成29年からは専門的・技術的分野の人材受け入れ、相手国への技術移転（技能実習）平成31年からは一定の専門性・技能有する人材受け入れ（特定技能制度）も施行することとなります。また、介護職員等に対する新たな処遇改善制度、介護ロボット・ICTなどの活用を図る事業も施行されます。

くまむた荘の課題としては、人材確保に力を注ぐ必要があります。同業種ではいずれの施設も人材確保に苦慮しております。福祉系教育機関の閉鎖が出ており、他業種に比較しても福祉関係職場には厳しい状況となります。人材不足は、介護支援に直接影響しますので、広く人材を求めたいと思慮しております。介護職などの処遇改善についても、国の制度を活用しつつ、施設でも独自の施策を考慮する見込みです。障害福祉を取り巻く環境は、非常に厳しくなっております。それぞれの課題をクリアしながら、法人の理念、基本方針に沿って、職員一丸となって利用者の皆様が健康に、笑顔いっぱいにお過ごしいただけるよう努めるとともに、地域に根差した施設づくりを実現するため、微力ではありますが努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

～支援センター 絆 だより～

～ 飛躍の一年になるように ～

今年度は雨が少なく、桜のきれいな姿が長く眺められる年でした。新年号にも変わるいい門出になったのではないのでしょうか。

さて、平成31年度・令和元年になります。支援センター絆では今年度各相談員がどういったことに取り組むかを話し合い、各々の強みを発揮できるような1年を過ごすことができるよう取り組んでいます。

また、令和に年号が変わることから取り扱っている契約書類などの作り変えも行わなければなりませんし、絆としても新たに加算を取ることも検討しています。

今年度は色々とばたつく年度になりそうですが、新年号になることもあり、気持ち新たに各々が成長できる、飛躍できるような1年になるようがんばっていきたく思います。



令和 (れいわ)

※日本最古の歌集「万葉集」巻5、梅花の歌32首の序文にある「初春の令月にして、気淑(よ)く風和らぎ、梅は鏡前の粉を披(ひら)き、蘭は珮後(はいご)の香を薫らす」(書き下し文)から二文字をとって命名された。